

# 家に帰ろう get home 已

み～

北九州西署  
公式キャラ  
たいきくん



【取組期間 令和6年11月～令和7年3月】

当署管内においては、労働災害の増加が続いており、令和6年は前年同期比+14.4%と大幅に増加しています。

**失った命は二度と戻りません。**働く仲間全員が無事に帰宅できるよう、転倒対策を中心に運動を展開しますので、労使一体となって以下に取り組んでください。

## 1 件数が多い業種

go homeとget homeは共に帰宅する意味だけど、go homeは家に向かう、get homeは家に降り着く

- ①小売業91件 ②製造業63件 ③建設業60件
- ④社会福祉施設53件 ⑤道路貨物運送業44件 ⑥清掃業33件

## 2 増加率が高い業種

というとっても大きな違いがあるから、職場の仲間全員でget home運動に取り組んでね😊

- ①社会福祉施設+71% ②ビルメンテナンス業+66.7%
- ③道路旅客運送業+20% ④道路貨物運送業+15.8%

## 3 件数が多い事故の型

※令和6年に発生し9月までに当署に提出された休業4日以上労働者死傷病報告の速報値。いずれもコロナウイルス感染症関連を除く。

- ①転倒121件 ②墜落・転落70件 ③動作の反動、無理な動作67件
- ④はさまれ、巻き込まれ53件 ⑤交通事故36件

## 取組事項

- 1 安全衛生管理体制の確立（安全管理者、安全推進者）
- 2 安全衛生教育の実施（新規、作業内容変更時、定期）
- 3 リスクアセスメント、リスクマネジメントの実施
- 4 業種別対策の推進



- (1)共通 転倒（特に雨・雪の日）、脚立からの墜落、腰痛予防
- (2)小売業、飲食店 二輪車の交通労働災害、CO中毒、食品加工機械
- (3)社会福祉施設 交通労働災害（傾斜地でのサイドブレーキや車輪止め）
- (4)製造業 機械へのはさまれ、巻き込まれ、設備点検中の墜落
- (5)建設業 足場や建物からの墜落、建設機械、クレーン、土砂崩壊
- (6)道路貨物運送業 荷台からの墜落、荷崩れ、フォークリフト
- (7)清掃業 薬品使用時の保護具、階段からの墜落

職場での**転倒**にご注意ください！

# 転倒予防のために 適切な「靴」を選びましょう

## サイズ

靴と足はフィットしていますか？

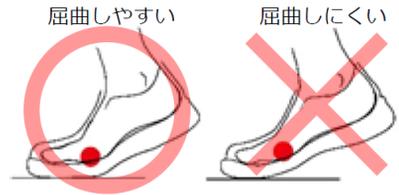
足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。



## 屈曲性

親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？

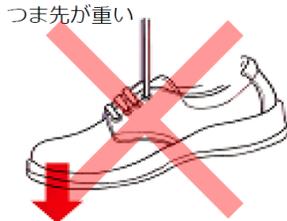
靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



## 重量バランス

靴の前後の重さのバランスはとれていますか？

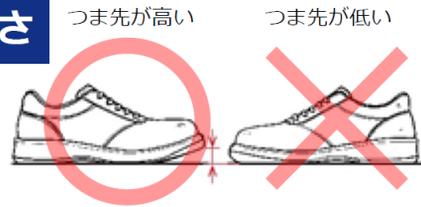
靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりにくく、つまずきやすくなります。



## つま先部の高さ

つま先から床面まで一定の高さがありますか？

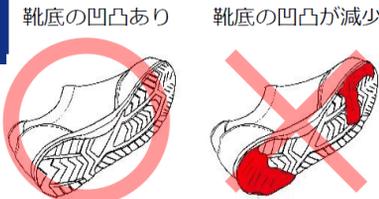
つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。



## 靴底の減り具合

靴底がすり減っていませんか？

靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります



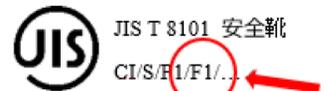
## 耐滑性の有無

靴の滑りにくさを確認していますか？

耐滑性を有する靴は、以下の箇所で確認できます。

### ■安全靴の場合

個装箱のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください



### ■プロスニーカーの場合

靴のべろ裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。



## その他の性能

### ■静電気帯電防止性

静電気帯電による放電着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能



### ■かかと部の衝撃エネルギー吸収性

かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能



### ■耐踏抜き性

釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能



## STOP! 転倒災害プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体は、労働災害のうちで最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

STOP! 転倒

検索



# はしご・脚立による労働災害を防止しましょう

近年、はしご・脚立からの墜落・転落災害が多発しており、死亡や半身不随等の重大な労働災害も発生しています。

建設業、製造業に限らず、小売業、飲食店、社会福祉施設などの第3次産業でも多発していますので、やむを得ず使用する場合は以下の対策を徹底してください。

## 共通ポイント

- 点検責任者を選任し、定期的に点検する。
- 踏み棧が平らで十分な広さがあるものを購入する。(踏み棧がパイプでないもの)
- 使用者を限定し、雇入れ時及びその後定期的に安全教育を行う。
- 作業箇所の状況、高さに見合ったものを準備する。
- 使用前に、損傷、変形、腐食がないか確認する。
- 高さ2m以上の作業や一人作業ではヘルメットを着用し、あごひもを確実に締める。  
(ヘルメットの内側に「墜落時保護用」の表示があるもの、耐用年数を過ぎていないもの、変形や破損がないものを使用し、衝撃を与えた場合は交換する。)
- 荷や工具を手を持って昇降しない。
- 体を乗り出す等、無理な姿勢を取らない。
- 特に守るべき2~3項目をA4サイズの紙に大きな文字で示し、ラミネート加工したものをはしごや脚立にぶら下げて使用者に意識させる。

## はしごの安全な使用方法のポイント

- 幅が30cm以上あるものを使用する。
- 上部は建物等に固定し、脚部はすべり止めマットを敷いて転位を防ぐ。どちらか一方でもできない時は補助者が支える。
- 建物上に乗り移る場合、建物の最上部から60cm以上突き出す。
- 角度は水平面に対して75度程度とする。
- 上部に安全ブロックを取付け、墜落制止用器具のフックを掛ける。
- 昇降時は、はしごを正面に見て、踏み棧を両手でつかむ。
- 通路に面した場所では、監視人を配置するか作業範囲をカラーコーン等で囲い、通行者に危険を与えない。



## 脚立の安全な使用方法のポイント

- 両側の開き止めを使用する。
- 天板に立たない。
- 天板を跨(また)がず、片側に立つ。(脚立がぐらついても足が抜けず脚立と一緒に倒れる)



労働条件等関係助成金

検索

労働基準、労働安全衛生関係の助成金、補助金



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

ホーム

Google カスタム検索

検索

テーマ別を探す 報道・広報 政策について 厚生労働省について 統計情報・白書 所管の法令等 申請・募集・情報公開

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 雇用・労働 > 労働基準 > 事業者の方へ > 事業者への支援\_助成金等一覧 > 「労働条件等関係助成金」のご案内

雇用・労働

## 「労働条件等関係助成金」のご案内

- パンフレット
- 1. 業務改善助成金
- 2. 働き方改革推進支援助成金
- 3. 受動喫煙防止対策助成金
- 4. 団体経由産業保健活動推進助成金

政策について

分野別の政策一覧

健康・医薬



あんぜんサイト

検索

リスクアセスメント、転倒災害防止、腰痛予防対策、  
交通労働災害防止、災害統計・事例、法令・通達

職場の安全を応援する情報発信サイト

## 職場のあんぜんサイト

HOME お問合せ サイトマップ 検索



労働災害統計



労働災害事例



各種教材・ツール



化学物質



働く人

家族

企業

みんなが元気になる職場を創りましょう。



こころの耳

検索

メンタルヘルス対策全般、ストレスチェック

こころの耳

働く人の  
メンタルヘルス・ポータルサイト

ホーム

厚生労働省

働く方へ

ご家族の方へ

事業者の方へ

部下を持つ方へ

支援する方へ

今日のおすすめ

「こころの耳」広報物

よく見られているコンテンツ



福岡産業保健

検索

福岡産業保健総合支援センター、地域産業保健センター、  
メンタルヘルス対策支援、治療と仕事の両立支援、  
労働衛生関係研修会

## 福岡産業保健総合支援センター

労働者の方々が健康で安心して働ける職場づくりを支援します

